

「あいち外国人材適正受入れ・共生推進協議会」ワーキンググループ
(生活環境、日本語学習・日本語教育)第2回会議(合同)

災害時の外国人支援について

NPO法人 多文化共生リソースセンター東海
代表理事 土井 佳彦

1

<プロフィール>

1979年、広島市生まれ。大学で日本語教育を学び、卒業後、大学や日本語学校、地域の日本語ボランティア教室で日本語教育に従事。2009年10月より現職。

東日本大震災(2011)、北関東・東北豪雨(2015)、熊本地震(2016)、西日本豪雨(2018)、九州北部豪雨(2019)において、被災外国人支援活動に携わる。



土井佳彦(Yoshihiko Doi)



doiyoshihiko76@gmail.com



<http://doiyoshihiko76.wixsite.com/doiyoshihiko>

【学歴】

2002/3 倉敷芸術科学大学教養学部教養学科 卒業
2011/3 南山大学大学院人間文化研究科教育ファシリテーション専攻 修了

【職歴】

2008/10-現在 多文化共生リソースセンター東海 代表(現、代表理事)
2011/4-現在 静岡文化芸術大学 非常勤講師
2012/4-現在 日本福祉大学 非常勤講師
2015/4-現在 名古屋外国語大学大学院 非常勤講師

【役員】

2009/6-現在 NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会 理事
2015/6-現在 NPO法人起業支援ネット 理事
2018/6-現在 移民政策学会 理事

【その他】

2011/4-現在 (一財)自治体国際化協会 地域国際化推進アドバイザー
2016/4-現在 文化庁 地域日本語教育推進アドバイザー
2018/4-現在 (一財)自治体国際化協会 災害時外国人支援アドバイザー
2018/7-現在 (公社)日本語教育学会 社会啓発委員会 委員

災害時に外国人が直面する困難とその背景

知識が少ない

- どうして地震が起きるのかを知らない
- 地震が起きる前に、何をしたらいいのかわからない
- 地震が起きた後、どうしたらいいのかわからない

情報が少ない

- どこから情報が得られるのかを知らない
- 流れている情報が理解できない
- 正確な情報とデマ・うわさの判断ができない

つながりが少ない

- 近くに信頼できる人がいない
- 地域のことを知らない
- どのコミュニティ(community)にも参加していない

3

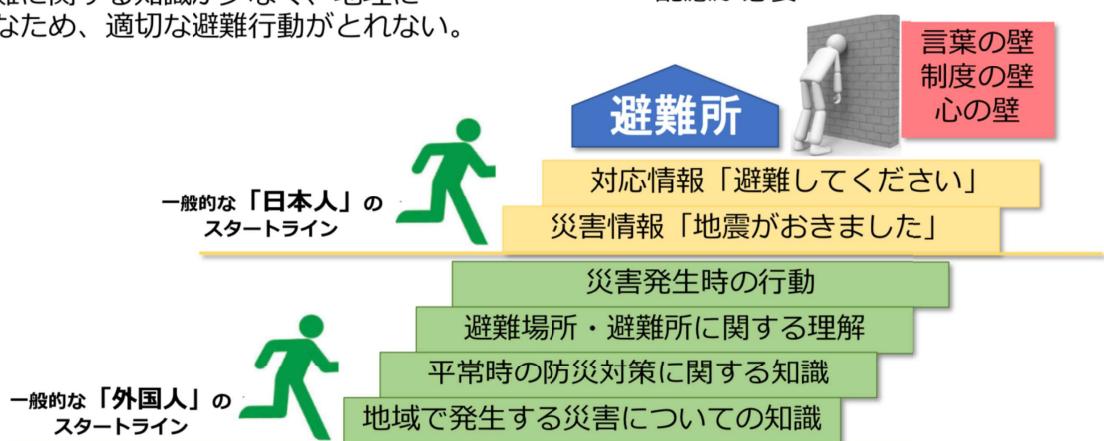
災害時に外国人が直面する困難とその背景

「避難行動要支援者」としての外国人

- 日本語がわからないため、避難指示などの情報が届かない
- 災害や避難に関する知識が少なく、地理にも不案内なため、適切な避難行動がとれない。

「要配慮者」としての外国人

- 言葉や文化や習慣、宗教上の配慮など、避難生活での情報やサービスの提供で配慮が必要



「要防災教育者」としての外国人

- 自国と日本で発生する災害が違うためどうしたらいいかわからない。

4

国における被災外国人対応

- 各省庁における関係機関等への情報の多言語化
及び被災外国人向け情報の発信
- 駐日大使館・領事館等との連携
- 迅速かつ安全な(一時)帰国支援
- 復旧・復興期における各種手続き等への配慮
- 海外への正確な情報発信

5

 広島入国管理局 
@IMMI_HIROSHIMA

[フォローする](#) ▾

【豪雨災害にあわれた外国人の方へ】
この度の豪雨で、被害にあわれた外国人の方
はいますか？
入管の手続きをしたいけれど書類が揃わな
い、在留カードがなくなってしまったなど、
入管の手続きに困っていたら、電話で相談し
てください。
電話番号は082-221-4412です。

13:05 - 2018年7月13日

6件のリツイート 2件のいいね

コメント 6 評議 2 メール

6

気象庁「多言語辞書データ」

No	種別	情報種別等	日本語	英語	中国語(簡体字)
1	用語	共通	気象庁	Japan Meteorological Agency (JMA)	气象厅
2	用語	共通	気象庁発表	Issued by the Japan Meteorological Agency (JMA)	日本气象厅发布
3	用語	特別警報・警報・注意報	特別警報	Emergency Warning	特别警报
4	用語	特別警報・警報・注意報	気象警報	Weather warning	气象警报
5	用語	特別警報・警報・注意報	注意報	Advisory	注意报
6	用語	特別警報・警報・注意報	警戒レベル	Alert level	警戒水准
7	用語	特別警報・警報・注意報	警戒レベル1	Alert level 1	警戒等级1
8	用語	特別警報・警報・注意報	警戒レベル2	Alert level 2	警戒等级2
9	用語	特別警報・警報・注意報	警戒レベル3	Alert level 3	警戒等级3
10	用語	特別警報・警報・注意報	警戒レベル4	Alert level 4	警戒等级4
11	用語	特別警報・警報・注意報	警戒レベル5	Alert level 5	警戒等级5
12	用語	特別警報・警報・注意報	警戒レベル相当情報	Information equivalent to Alert Level	警戒等级相当信息
13	用語	特別警報・警報・注意報	警戒レベル2相当情報	Alert Level 2 equivalent information	警戒等级2相当信息
14	用語	特別警報・警報・注意報	警戒レベル3相当情報	Alert Level 3 equivalent information	警戒等级3相当信息

今後の予定

<令和元年>

- 7月3日 気象庁ホームページの危険度分布及び雨雲の動きの6か国語化
- 7月末 気象庁ホームページの危険度分布及び雨雲の動きの11か国語^(※3)化
- 9月頃 気象庁ホームページの他の防災気象情報の11か国語化

※3：上記6か国語に加え、インドネシア語、ベトナム語、タガログ語、タイ語、ネパール語

<令和2年>

- ～3月頃 気象庁ホームページの危険度分布及び雨雲の動きの14か国語^(※4)化
- 気象庁ホームページの他の防災気象情報の14か国語化

7

※4：上記11か国語に加え、クメール語、ビルマ語、モンゴル語

自治体における被災外国人対応

- 災害時外国人支援計画の策定
- 実践的な訓練の継続実施
- 関連団体等とのネットワーキングと役割分担
- 情報発信及び各種手続き等の多言語対応
- 外国人対応が可能な人材育成



地震(じしん)の ニュース

2018年11月2日 17:00

地震(じしん)です。近(ちか)くに いる 人(ひと)は 余震(よしん)[=あとから くる 地震(じしん)]に 注意(ちゅうい)して ください。

- 地震(じしん)が あった 時間(じかん): 2018年11月02日 16時54分
- 地震(じしん)が あった 場所(ばしょ): 紀伊水道
- 地震(じしん)の 大(おお)きさ: 地震(じしん)の 大(おお)きさ5.4
- 地震(じしん)が 起(お)きた 場所(ばしょ): 50Km

震度(しんど)[=揺(ゆ)れの 大(おお)きさ]は 以下(いか)の 通(とおり)です。

震度(しんど)1: 豊田市(とよたし)

9

県内市町村の登録型緊急メール多言語対応状況

	ポルトガル語	英語	スペイン語	中国語	やさしい日本語
豊橋市	○	○	○	○	○
小牧市	○	○	○	○	
豊田市	○	○	○		○
知立市	○	○		○	○
豊川市	○	○	○		
高浜市	○	○	○		
碧南市	○	○	○		
岡崎市	○	○			○

ゴミの分別にご協力ください。

ポルトガル語

Coopere para a separação dos lixos.

タガログ語

Ihiwalay ang basura ayon sa iba't ibang uri.

中国語（繁体字）

敬请协力于垃圾的分类。

インドネシア語

Berpartisipasi dalam pemisahan
pembuangan sampah

多言語表示シート

←



多言語避難者カード

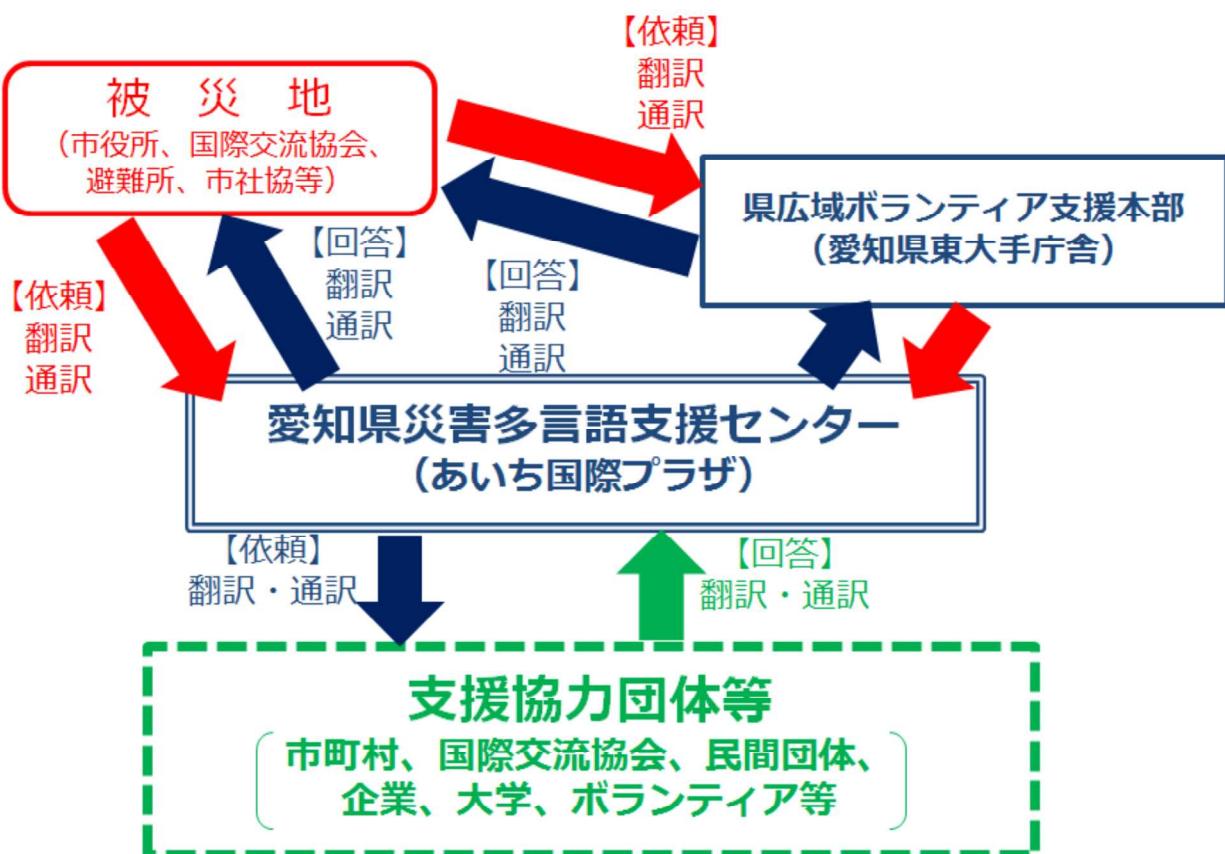
→

① カラーリングカード避難者の登録

姓氏/名前 性別	年齢 生年月日	電話番号	メールアドレス	避難場所
1 代表者				□ おもな居所 □ おまかせ □ その他
2				□ おもな居所 □ おまかせ □ その他
3				□ おもな居所 □ おまかせ □ その他
4				□ おもな居所 □ おまかせ □ その他
5				□ おもな居所 □ おまかせ □ その他

住所

11



企業における被災外国人対応

- BCPへの外国人従業員対応(家族含む)の導入
- ステークホルダーにおける外国人従業員対応の確認
- 外国人顧客への情報提供・避難誘導等安全確保
- 復旧・復興期における労働力の転換
- 海外への正確な情報発信

13

原発事故で外国人従業員が大量帰国した外食産業の動向

【出典】東洋経済ONLINE(2011/06/02)

東日本大震災すべての産業が打撃を受けたが、中でも外国人を多く採用している外食産業の被害は大きかった。原発事故による放射能汚染を恐れた外国人従業員が大量に帰国してしまったのだ。従業員がいなければ店舗は成り立たない。



震災から3ヶ月経つことを機会に、外食産業の外国人労働者の動向についてまとめた。

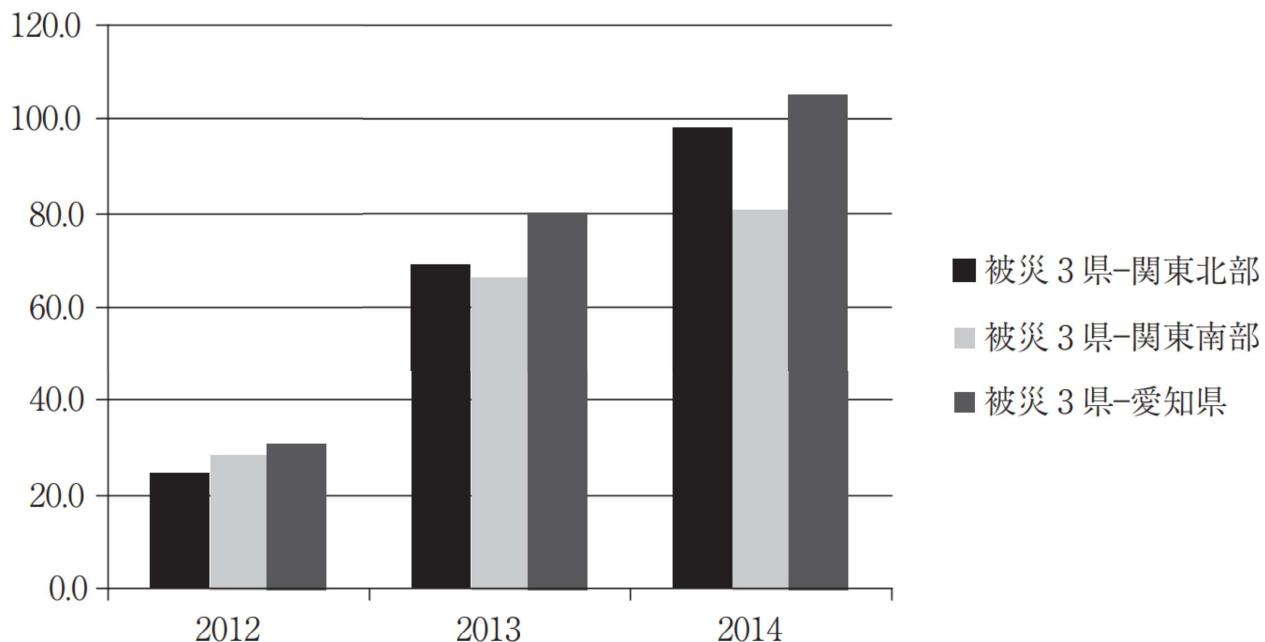
吉野家ホールディングス傘下の牛丼店「吉野家」では、中国人留学生を中心に首都圏で800人がパート・アルバイトで働いているが、震災直後そのうち200人が失踪。近隣店舗からの応援や日本人の新規採用の増加により、かろうじて店舗運営を維持することができたが、一時は営業が危ぶまれる状況に陥った。

いなくなった200人は現在もほぼ戻っておらず、「新規採用でまるまる入れ替わったというイメージに近い」と同社の広報担当者は語る。

「店長・エリアマネージャーが、外国人従業員とコミュニケーションを取れている店舗は目立った失踪もなく、大丈夫だった。何も情報がない場合には恐くて帰国してしまったたのだろう。正しい情報を伝えるよう日頃からコミュニケーションを図っておくことが重要だということがわかった」(同広報担当者)。

同じ牛丼店でも松屋フーズの「松屋」は外国人従業員1000人のうち200人が失踪し、「一部の店舗では深夜の営業を取りやめた」(緑川源治社長)という。ゼンショーの「すき家」も、「外国人従業員全体の数は把握していないが、中国人を中心に首都圏で3~4割が帰国した」(同社)¹⁴とを明かす。

震災年(2011年)を基準とした被災3県と その他地域における技能実習生数の伸びの差



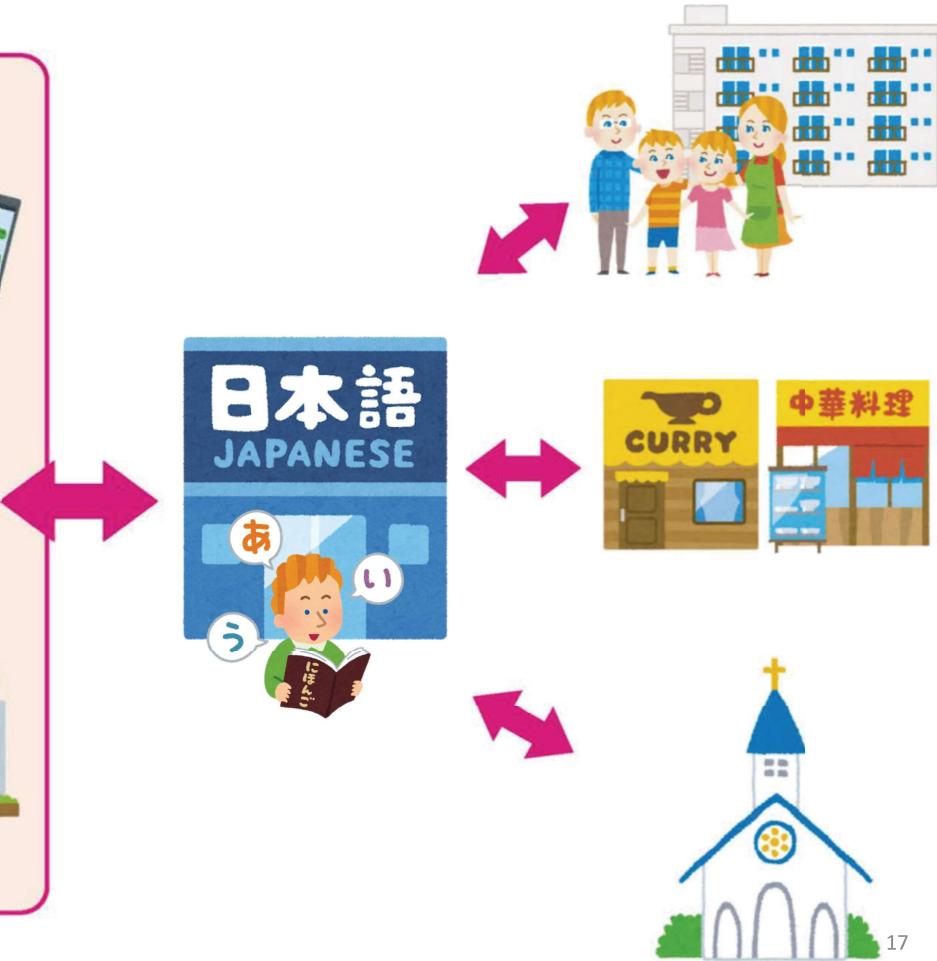
【出典】(独法)日本労働政策研究・研修機構「日本の外国人労働力の実態把握」

15

中間支援NPO等における被災外国人対応

- 関係団体への働きかけ、ノウハウの提供
- 発災後の状況確認・支援策の検討
- 自治体や地域との連携方法の検討
- 復旧・復興期における被災状況等の確認・相談対応
- 現場から自治体等への提言・要望まとめ

16



17

おわりに

- ✓ 災害時に外国人が何に・なぜ困るかは大体わかっているはず
- ✓ それにどう対処すべきかも大体わかっているはず
- ✓ あとは、**実践**あるのみ！
(いつまでに、どこまで改善するか？)